



「ごはんdeゼミナール」。田んぼの恵みの一つとして、モミガラクん炭の作り方と活用について話してきました。ただし東京まで往復して、持ち時間はたったの15分でした。

日立で産直交流会 ガン克服の講演?も



さる10日、産直の交流会が開かれました。十王町の田園都市センターで、日立の皆さんを中心に13名が参加しました。テーブルには手作りのごちそう。産直の野菜と米を使ったものがほとんどです。おいしくいただきながら、みんなが一言ずつ。

事務局の大野さんは、「ただ物の売り買いでない、食と農を守り考える運動だととらえているからこそ、大変だけど頑張っている。そういう

皆さんが持ち寄った
手作りのごちそう

理解を広げてほしい」

S某サトさんは、「無農薬の野菜づくりは大変なことも多いけど、買ってくれる人がいると思うと作る意欲も湧いてくる。待っていている人の話が聞けて、きょうの交流会は本当に嬉しい」・・・などなど。

後半は、末期ガン患者?である根本さんの「講演」。足や腰の激痛を

こらえながらの選挙戦、余命2年と告げられた精密検査の経緯などを、診断書もひけらかしながら報告しました。そして、免疫療法との出会い、悔い改めならぬ食改めた玄米と野菜中心の食事などが明るく話されました。「1年後くらいに、本当にガンが治りましたと報告会を開くのでお楽しみに」だってさ。

網を食い破ってキツネ?襲来

「さくら玉子」については本紙No. 488でお知らせしました。これを産み始めた鶏たちが襲われ、3分割して飼っていた鶏舎のうち1棟分、10数羽が皆殺しにされてしまいました。

食い破られた網の穴や、鶏舎周囲に残された足跡、鶏の死骸などから、犯人はキツネだとみえています。

